

第1章 概況

第1章 概況

1 位置及び地勢等

本市は、山口県の東南部、周南工業地帯の東部に位置しており、市の東側は柳井市、田布施町、北側は周南市、岩国市、西側は下松市に隣接しています。

市域の北西部を島田川、北東部を田布施川が貫流し、両河川を中心にまとまった平地が広がっています。両河川の上流部には田園地域が広がるとともに、瀬戸内海沿岸や岩田駅周辺には市街地が形成されています。

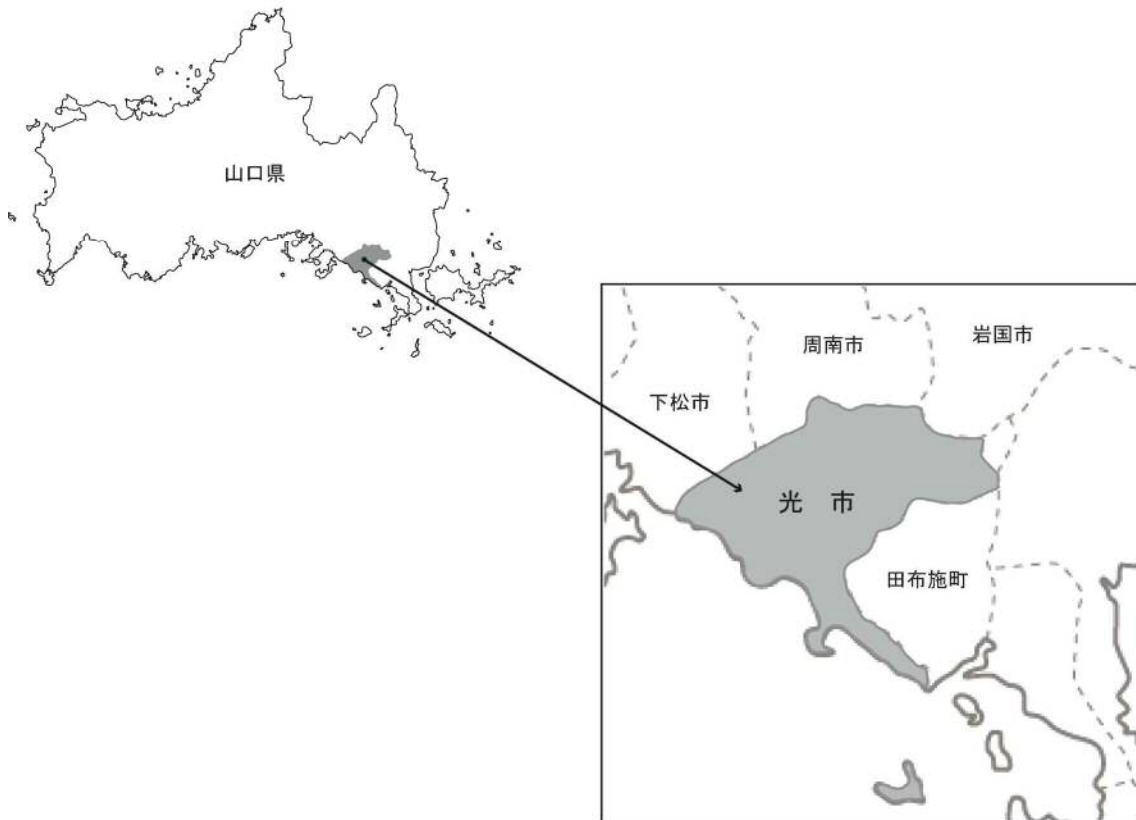
本市は瀬戸内の温暖な気候と豊かな自然環境に恵まれており、白砂青松の室積・虹ヶ浜海岸や象鼻ヶ岬など風光明媚な海岸部は瀬戸内海国立公園として、青々とした森の石城山を中心とした山間部は石城山県立自然公園として、それぞれ指定を受けています。

表-1 光市の面積等

面積	位置（市役所の所在地）		広 ぼ う	
	経 度	緯 度	東 西	南 北
92.13 km ²	東経 131° 56′ 32″	北緯 33° 57′ 42″	東西 16km	南北 20km

(出典：国土地理院ホームページ)

光市の位置



2 気 象

平成 27 年の気象状況をみると、年間を通じた平均気温は 16.0℃（最高 34.2℃、最低−2.1℃）、年間降雨量は 1,796.5mm となっており、気候は温暖で暮らしやすい瀬戸内式気候で、最適な住環境を備えた都市といえます。（表−2）

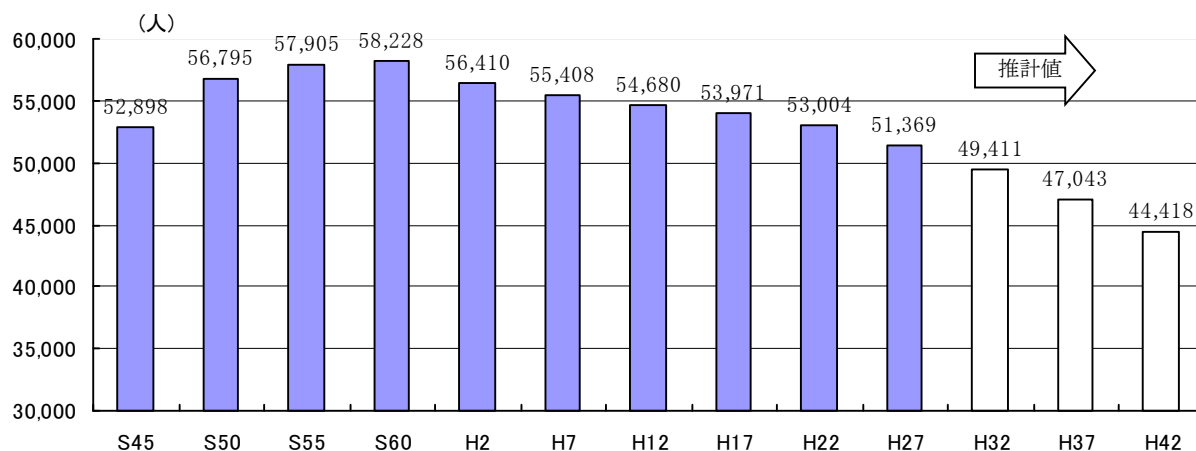
表−2

年次	気 温 (℃)			湿 度 (%)			降雨量 (mm/年)		
	最高	最低	平均	最高	最低	平均	降雨日数	降雨量	平均
平成 8 年	35.1	−3.4	16.0	96.3	11.1	68.0	120 日	2066.5	172.2
平成 19 年	33.8	−1.1	16.6	94.7	10.7	64.3	95 日	1176.5	98.0
平成 20 年	35.5	−2.0	16.1	97.0	12.9	66.3	104 日	1505.5	125.5
平成 21 年	33.0	−2.5	16.1	97.7	12.4	66.7	112 日	1717.0	143.1
平成 22 年	34.0	−1.7	16.1	92.7	14.6	65.4	118 日	1692.0	141.0
平成 23 年	34.1	−5.4	15.8	92.2	11.7	64.9	101 日	1564.0	130.3
平成 24 年	34.4	−4.0	15.5	98.1	14.3	65.9	114 日	1533.5	127.8
平成 25 年	34.4	−2.7	16.0	98.4	18.3	75.5	100 日	1971.5	164.3
平成 26 年	34.6	−1.8	15.7	98.6	10.7	77.8	120 日	1603.0	133.6
平成 27 年	34.2	−2.1	16.0	98.7	20.6	80.2	121 日	1796.5	149.7

3 人口の推移

本市の総人口は、国勢調査データによると昭和 60 年の 58,228 人をピークに減少傾向が続き、平成 27 年の国勢調査では 51,369 人となっています。国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、平成 42 年には 44,418 人に減少すると予測されています。（図−1）

図−1 総人口の推移



（資料：国立社会保障・人口問題研究所）

4 自然

本市には、白砂青松の室積・虹ヶ浜両海岸をはじめ、多様な生物が棲息する島田川、常緑広葉樹で覆われる峨嵋山、石城山を中心とした石城山県立自然公園など、恵み豊かな美しい自然が多く残されており、今後、人との共生を図りながら、自然を良好な状態で維持・継承していくことが重要となっています。

(1) 自然環境特性

本市の北西部を貫流する島田川は、河口付近がユリカモメやウミネコの渡来地となっており、他にもコサギやハマシギ、イソシギなどの水鳥が数多く観察されています。また、島田川は、ハゼやドジョウなどの魚類や、エビやカゲロウなどの水生生物の宝庫でもあり、それを捕食するために野鳥などの様々な鳥類が集まります。

室積地区の千坊・大峰山や峨嵋山は、県により鳥獣保護区に指定されており、小動物や野鳥の生息域として保全されています。また、室積半島の南側にある杵崎鼻から赤崎鼻にかけての海岸は、クサブグの産卵地として県指定の天然記念物となっています。

周防地区の山地丘陵にはギフチョウが生息しており、束荷川や今積川をはじめとする島田川の支流となる河川においては、ホタルも多く見られます。

本市の植生は、大半がヤブツバキクラス域の代償植生で覆われていますが、その他にもコバノミツバツツジやアカマツの群落、スギやヒノキの植林等が多くを占めています。

(2) 市の木及び市の花

市の木として「クロマツ」、市の花として「ウメ」を定めています。

(3) 保全地域の指定

本市は、平成 19 年に「光市環境基本条例」を制定し、法律その他の法令等に定めのあるものを除く区域で、特に自然環境の保全を図ることが認められるときは、原生自然環境保全地域及び自然環境保全地域を指定し、保全することとしています。地域の指定については、平成 21 年 10 月 1 日に原生自然環境保全地域 3 箇所、自然環境保全地域 3 箇所を指定しています。

○原生自然環境保全地域

鮎鼻、宝来山、岩屋

○自然環境保全地域

浅江神社、一の坂滝、溪月院

(4) 国立公園、県立公園、記念物、名勝、百選一覧

	名 称	場 所	指定年月日
1	瀬戸内海国立公園	室積・虹ヶ浜海岸(門蔵山含む)、室積半島(峨嵋山)、千坊・大峰山、牛島、大水無瀬島、小水無瀬島、尾島	昭和 31 年 5 月 1 日
2	国指定天然記念物	峨 嵋 山 樹 林	昭和 7 年 4 月 25 日
3	石城山県立自然公園	石 城 山 一 帯 ほ か	昭和 37 年 4 月 1 日
4	県指定自然記念物	牛島のモクゲンジ群生地	平成 元 年 3 月 31 日
	県指定天然記念物		平成 10 年 4 月 14 日
5	県指定天然記念物	光のクサフグ産卵地	昭和 44 年 2 月 4 日
6	県指定自然記念物	東 荷 神 社 樹 林	平成 11 年 4 月 27 日
7	県 指 定 名 勝	普 賢 寺 庭 園	平成 6 年 5 月 2 日
8	市指定天然記念物	森 様 社 叢	昭和 58 年 7 月 26 日
9	市指定天然記念物	牛島のタブノキ	平成 21 年 2 月 17 日
10	市指定天然記念物	牛島のヒトツバハギ群生地	平成 24 年 2 月 15 日
11	日本の名松百選	室積・虹ヶ浜海岸	昭和 58 年 5 月 18 日
12	森林浴の森日本 100 選	室積・虹ヶ浜海岸	昭和 61 年 4 月 19 日
13	日本の白砂青松 100 選	室積・虹ヶ浜海岸	昭和 62 年 1 月 10 日
14	日本の渚・百選	室積・虹ヶ浜海岸	平成 8 年 7 月 10 日
15	日本の水浴場 55 選	虹ヶ浜海水浴場	平成 10 年 5 月 28 日
16	日本の水浴場 88 選	室積・虹ヶ浜海水浴場	平成 13 年 5 月 28 日
17	快水浴場百選	室積・虹ヶ浜海水浴場	平成 18 年 5 月 24 日

(5) 都市公園の現況

市内の公園・緑地等は、野生生物の生息環境の確保、大気の浄化、災害等の避難空間の形成や延焼防止等による防災上の効果、レクリエーションや自然とのふれあいの場の創出及び潤いのある都市景観の形成など多様な機能を有しており、健康で文化的な都市環境を形成する上で、欠かすことのできない都市空間です。

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

種別 項目	都市公園							計
	街区公園	近隣公園	総合公園	運動公園	歴史公園	墓園	都市緑地	
箇所数(箇所)	28	1	1	2	1	1	4	38
面積(ha)	6.62	2.25	12.81	27.52	1.84	2.80	3.30	57.14

(資料：都市政策課)

5 産 業

本市は、昭和 39 年に周南地区工業整備特別地域に指定された周南地域の東部に位置しており、戦後に旧海軍工廠跡地において操業を開始した新日鐵住金(株)と武田薬品工業(株)の 2 大企業を中心に発展してきました。

2 大企業について、新日鐵住金(株)は、平成 15 年に新日本製鐵(株)と住友金属工業(株)のステンレス部門を相互に分割統合して新日鐵住金ステンレス(株)を設立し、平成 18 年に新素材事業部門を分社化して新日鐵住金マテリアルズ(株)（当時は新日鐵マテリアルズ(株)）を設立、さらに、平成 24 年には住友金属工業(株)（当時）と経営統合しました。

武田薬品工業(株)は、近年、光工場を国内の医薬品製造の拠点工場へと移行させつつあり、ワクチン製造棟の建設等、継続的な生産設備の拡充が行われています。

市の北部、山陽自動車道・熊毛インターチェンジに近接する周防地区及び大和地域には、周防工業団地及び大和工業団地があり、周防工業団地で 15 社、大和工業団地で 4 社が操業しています。また、市の西部の浅江地区には、ひかりソフトパークがあり、9 社が進出しています。（表-3）

表-3

(1) 周防工業団地

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

事 業 所	事 業 所
カンロ(株) ひかり工場	水上金属工業(株)
(株)ヒロテック 光工場	秋野鋼機(株)
(株)アロイ 光加工センター	(株)五光製作所 山口工場
光メタルセンター(株) 周防工場	(株)黒木工業所 周防工場
(有)谷野工業	(株)芳川鉄工所
(株)イシナガ	(株)守田家具 小周防工場
(株)日立プラントメカニクス 周防工場	(株)イチキン 周防工場
(株)ただおザウルス 光工場	

(2) 大和工業団地

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

事 業 所	事 業 所
三和実業(株) 山口工場	山口碓永自動車(株)
ゼオン化成(株) 山口工場	ランデス(株) 山口工場

(3) ひかりソフトパーク

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

事 業 所	事 業 所
(株)巽設計コンサルタント	(株)フジテクノ
(有)風車 デイサービス風車ひかり	(有)兼清メディカルサービス
(医)三生会 みちがみ病院	山口合同ガス(株) 徳山支店光センター
(有)LOCAL STANDARD ファミリー薬局	(株)山口県ソフトウェアセンター
(学)YIC 学院 YIC 保育&ビジネス専門学校	

6 都市計画法に基づく土地利用計画

本市は、国土利用計画法の規定による「山口県土地利用基本計画」において、都市地域、農業地域、森林地域及び自然公園地域の4つの地域が定められています。このうち都市地域は、都市計画法の規定による都市計画区域であり、本市は周南都市計画区域と周南東都市計画区域の2つの都市計画区域に属しています。

周南都市計画区域は、周南市及び下松市の各一部の区域との広域都市計画区域として昭和45年に指定され、市街化区域と市街化調整区域との区分が定められました。

周南東都市計画区域は、大和都市計画区域（光市大和地域の全部の地域）と熊毛都市計画区域（周南市熊毛地域の一部の地域）とを統合し、さらに小周防・立野地区の一部を編入した広域都市計画区域として平成24年3月に指定されました（区域区分の定めなし）。

表-4

(1) 周南都市計画区域

(平成28年3月31日現在)

区 分	面積 (ha)	種 類	面積 (ha)
	約 4,760		
都市計画区域	市街化区域	第一種低層住居専用地域	約 125
		第一種中高層住居専用地域	約 392
		第二種中高層住居専用地域	約 23
		第一種住居地域	約 312
		第二種住居地域	約 8.0
		準住居地域	約 34
		近隣商業地域	約 57
		商業地域	約 65
		準工業地域	約 96
		工業地域	約 16
	工業専用地域	約 303	
市街化調整区域	約 3,329		

(2) 周南東都市計画区域

(平成28年3月31日現在)

区 分	面積 (ha)	種 類	面積 (ha)
	約 4,232		
都市計画区域	用途地域指定有	第一種低層住居専用地域	約 15
		第一種中高層住居専用地域	約 74
		第一種住居地域	約 93
		近隣商業地域	約 7.8
		商業地域	約 8.6
	準工業地域	約 4.0	
用途地域指定無	約 4,030		

(資料：都市政策課)